

平成24年11月13日

平成24年度第1回「学校関係者評価委員会」報告

1 概要

(1) 日程 11月13日(火) 13:30～14:45

(2) 場所 本校第一応接室

(3) 出席者

学校関係者評価委員 岸保戸坂城山小学校校長

奥田同窓会会長

奥本PTA会長

本校教職員

福原校長

岩本副校長

伊勢崎高等学校教頭

中川中学校教頭

八木教務部長

渡辺進路指導部長

麻野国際理解教育部長

飯盛情報図書部長

2 内容

校長挨拶及び出席者の紹介に続いて、各教頭、部長から今年度取り上げた重点項目及びその取組みについて説明を行った。

(1) 中学校の重点課題とそれに対する具体的な取組み

(2) 高等学校の重点課題とそれに対する具体的な取組み

(3) 教務部として

① 授業に真剣に取り組む態度を育む方策について

② 新教育課程の完全実施に伴う教育課程の編成について

③ 授業評価アンケートの活用について

(4) 進路指導部として

① 組織的・計画的な学習合宿の在り方について

② 進路アドバイザー制度の拡充・定着について

③ 大学入試研究会等の活用について

(5) 国際理解教育部として

- ① 国際理解教育の推進を図る海外姉妹校等との連携について
- ② 平成26年度から導入の海外修学旅行について

(6) 情報図書部として

- ① ICT機器を活用した職員会議等の運用について
- ② ICT機器を活用した授業改善の取組みについて
- ③ ICT機器を活用した自主教材の作成について

3 学校関係者評価委員からの意見及び助言

- ① 「課題別評価シート」における **Check** (評価) は自己評価だと思うが、評価指標が今少し具体的に示されていると判断しやすい。
- ② 小学校では「数値目標」を多用して評価するように工夫している。
- ③ 説明をいただき学校が評価を下された根拠は理解できたが、年度末に向けて外部評価がしやすい工夫が今少しあると良いと思う。
- ④ 「評価責任者」が示されており、責任の所在を明確にされていることは評価したい。小学校も参考にできる取組みだと思う。
- ⑤ 「評価」は何年か続けていくことで「**Check**」の精度が上がっていくのだと思う。こうした取組みを継続していただきたい。
- ⑥ 今回の「自己評価」を来年度以降どのようにつなげていくのか、ということも視野に入れて検討を進めていただきたい。
- ⑦ 「授業評価」は大事なことだと思う。ぜひ充実させて欲しい。